

# SWATH型 (SSC) 洋上風車アクセス船 (CTV) の紹介

- 洋上風力発電設備は海上に設置されるため、悪天候の際にはアクセスできないことが洋上風車の稼働率を下げる一因となります。
- 特に日本沿岸の厳しい海象下でCTVを運用する場合、CTVの船型の選択が重要となります。
- 三井E&S造船が開発、設計したSWATH船型(半没水型双胴船, 商品名「SSC」)は、通常のだんご船よりも風車移乗時/航走時ともに波浪中の動揺が小さい船型です。
- 当社SWATH型CTVの採用により風車接舷移乗時のアクセス率が向上し、洋上風車建設工事やO&Mの稼働率向上、風車発電量の増加、作業員の安全性向上や就労環境向上に寄与し、電力の安定供給に貢献します。



# SWATH型 (SSC) 船型について

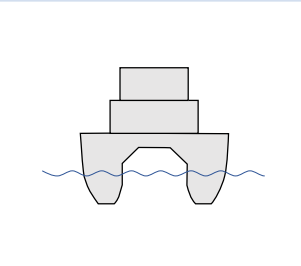
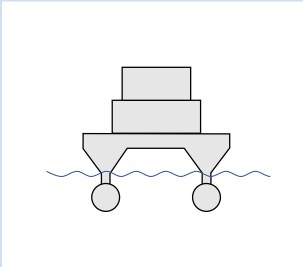
SWATH型 = Small Waterplane Area Twin Hull, 半没水型双胴船  
SSC = Semi-Submerged Catamaran, 当社SWATH型船型の商品名

- 水面下の没水部と水面上の上部構造物とを流線形の細長いストラットで結合したユニークな形状の双胴船
- 波浪中での優れた動揺性能
- 当社は1970年代からSWATH型 (SSC) 船型の開発/設計/建造を積み重ねており、既に多数の当社SWATH船型 (SSC) が日本沿岸海域に作業船や旅客船、交通船として就航してきた実績があります (計14隻)。



## 半没水型双胴船 (SWATH) と双胴船 (CATAMARAN) の比較

⇒SWATH型(SSC)は双胴船に対して多くのCTV運用上利点を有する

	双胴船 CATAMARAN	半没水型双胴船 SWATH (SSC)
		
航走時 船体動揺	△	◎ <span style="color: yellow;">アクセス成功率 作業員安全性 が向上</span>
移乗時(接舷時) 船首動揺	△	◎
デッキ面積	◎	◎ <span style="color: yellow;">船首甲板での 作業性確保</span>
平水中船速	◎	○
実海域(波浪中)船速	○ (波浪中船速低下 大)	○ (波浪中船速低下 小) <span style="color: yellow;">実運航では 速力差は小さい</span>

様々なサイズや用途で豊富な設計/建造実績を有する

SSC15	SSC20	SSC30	SSC40
全長約15mクラス	全長約20mクラス	全長約30mクラス	全長約40mクラス
			
建造例：小型クルーザー 「マリンウェーブ」 (JCI)	建造例：視察艇 「ベイスター」 (JG, 限定沿海)	建造例：多目的交通船 「コスモス」 (JG, 沿海)	建造例：高速旅客船 「シーガル2」 (JG, 限定沿海)

この他にも、多数の当社SWATH船型（SSC）が日本沿岸海域に作業船や旅客船、交通船として就航してきた実績があります（計14隻）

洋上WFサイトの海象や要求機能に応じたカスタマイズが可能